



11月となり一気に秋が深まり、山や庭先の広葉樹が赤や黄色に彩られてきました。これからは、『一雨一度』と称されるように気温が下がり、次の季節への準備が必要になります。

9月末の気象庁発表では、寒候期予報として12～2月にかけての降雪量は西日本の日本海側が多くなる見込みだそうです。2年続きの暖冬でしたが、久しぶりのまとまった雪になりそうです。

季節柄多くの感染症が心配です。新型コロナ・インフルエンザ始め各種感染症に罹らないためにも体調管理に努めましょう。

サロンの様子

- 1年9か月振りの参加、笑顔の再会
- 急に家事全般を担当する状況になり、普段気づかない家族それぞれの役割を再認識
- 家族の勤務体制の変化で、忙しくなり落ち着かない
- 他の人に理解してもらえないと感じ、気持ちが落ち込む
- 落ち着いていた症状が再燃し、内服調整
- 治療の影響で食欲がなく、休薬中も改善しない
- 家族が大病し、仕事しながらの介護生活

参加時のお願い

- 朝、発熱がないことを確認
- マスク着用
- 来所、退所時の手指消毒
- 開始前、終了後の清掃

人生の最終段階の療養生活の状況や受けた医療に関する 全国調査結果

10月31日、国立がん研究センターが公表し、翌々日の新聞には、がん患者に関しての主な結果が示されていた。

少し詳しく内容を見ようとHPにアクセスした。これは、厚生労働省委託事業であり、前年度の予備調査を踏まえたご遺族の方への調査であった。

「がん」「心疾患」「脳血管疾患」「肺炎」「腎不全」のいずれかの病気により亡くなった約5万人の方のご遺族の方々の意見を広く収集し、亡くなる前に利用した医療や療養生活の実態を把握し、医療や療養環境の改善につなげることを目的としたものであった。がんにおいては、第3期がん対策推進基本計画の中間評価を控え、参考のひとつになりそうだ。

この公表には、～医療に対する満足度は高いものの、人生の最終段階で、約4割のがん患者が痛みや気持ちのつらさなどを抱えてすごしており、緩和ケアや家族へのケアについてより一層の対策が必要であることが示されました～とサブタイトルが付いていた。

参考：国立がん研究センターHP、トップページ＞広報活動＞プレスリリース：2020年10月31日分

＜サロン開催予定＞

毎月第3土曜日 9：30～11：30

11月21日、12月19日、1月16日、2月20日、3月27日(第4土)

場 所： 保健センター 1階

予約不要： 途中参加・退室自由 お茶代： 100円

お問い合わせ先： 090-8068-7920(松浦)

